

山下クラスが開講しました。9月18日から水道橋講義が始まりました。  
年金講座から開講です。すべては来年8月末の試験合格のための講座です。

### ■再受験生・・・検証は最大の成功への道

試験お疲れさまでした。まずは一休みです。9月の講義で勉強のリズムを作りましょう。  
今回受験された方は本論講義の始まる前に、「**試験問題の検証**」を行ってください。  
今年の問題を分析するとやはり、中心は過去問です。

- ① 今年の問題の検証をしてください。
- ② 比較的正答率の高い問題は得点されているのか。
- ③ 試験場での答案の作成はどうでしたか？ 時間配分や難問への対応は？
- ④ 今回の受験経験を踏まえての対策は？
- ⑤ 勉強時間の確保は？
- ⑥ 問題の演習時間は？
- ⑦ 苦手科目は？
- ⑧ 各科目のなかで理解できていない箇所は？

### ★「検証」

この試験は努力すれば合格できます。その努力の中身がポイントです。ズバリ「**基本事項**」  
です。あやふやな**100**の知識より完全な**50**の知識で合格だと叫びます。選択式は数字と用語  
の試験です。

### ★山下クラス目標・・・今回の山下クラスの目標は「テキストの読み込み」と「問題演習」

#### ①テキスト

一例ですが読む回数目標を「**自分で**」決めましょう。

テキストAの記号の箇所は最低7回

テキストBの記号の箇所は最低5回

テキストCの記号の箇所は最低3回

テキストに読んだ日を書き込みましょう。例 10月5日 10月20日

最初の読み込みの作業は「精読」です。ゆっくりと言葉の変化と条文番号に気をつけて読  
みます。法律の流れをつかみます。これで基礎固めを行います。苦手な箇所も意識して読  
み込みましょう。

## ② 問題演習

過去問、答案練習、模試等 とにかく約1年かけて問題を解きまくりませう。

## ③ 山下塾のカリキュラムを基本にスケジュールを組み立てる。

## ④ 受験を決めた以上最初の目的を見失わないこと。

再受講生の方はモチベーション管理が大事です。再受講生のなかには複数回の受講生の方もいるでしょう。決してあと数点だから直前に追い込めば何とかかなるはダメです。今年の勉強量の1.5倍は必要です。前回勉強した知識や経験を無駄にしてはなりません。前回の受験をしっかりと検証し、反省の上にやるべきことをしっかりと決めましょう。

★試験勉強は登山とおなじです。

前回の本試験ではある程度点数が取れた。まあ直前期になってから頑張ればなんとかなるだろうでは、再びその時期での時間が足らなくなる可能性があります。直前期にはいると心理的な焦りや不安がでてきます。早期のうちから年間カリキュラムを作成し、勉強の方針を立て学習を進めて下さい。登山が始まります。私と一緒に登りましょう。

## ■初学者の方へ

まずは専門用語に慣れましょう。勉強を進めると最初の壁は用語です。法令用語や専門用語等に慣れてください。社労士試験は日本語の言葉の試験です。推定、みなし、認可、許可等。私達が使っている日本語（当たり前）ですが、法律の世界では独特な意味があります。また、専門用語が各科目ご洪水のごとく噴出してきます。どんどん出てきます。傷病手当（雇用保険）傷病手当金（健保）算定基礎期間（雇用保険）算定基礎届（健保）等

## ★初めての方への質問

- ・試験科目の配点を確認しましたか？年金科目の配点は？
- ・1年で合格するという意気込みがありますか？
- ・長期のスケジュールが組み立てられますか？
- ・仕事と勉強の両立は可能ですか？
- ・家族等の理解がありますか？

## ① 心構え・・・受験生になりきること。試験に出る個所を勉強する

試験科目全体の法律の量は膨大です。本気にならないと合格できません。社会保険労務士試験で問われる内容は実に細かい。しかし、学者になってはダメ。難解な個所は無視します。

## ② 相手を知る・・・問題を徹底して解く

### ③合格への条件・・・自己管理力

一番大事なものは「自己管理力」です。今年絶対合格するという気持ちで学習しましょう。最初から全てを理解し、記憶することは必要ありません。まずは、法律用語等に慣れることです。繰り返し最初はテキストを読むことから始めましょう。多少の疑問点があっても先に進むことです。受験勉強をする途中で受験生は立派に成長していきます。

### ④山下式に賭ける・・・弱気は禁。絶対合格の4文字だけに

時間が無い・業務が忙しい・年だから暗記が苦手・勉強の場所が無い・今年は練習・知識を学べれば十分・私には無理等は禁句です。マイナスの発想はマイナスです。限られた時間を有効に活用しましょう。受験は一種の戦いです。作戦をしっかり組立てスケジュールを組み、毎日1時間でも継続して学習を行うことが大切です。